

関係各位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会  
(事務局：J A 福岡中央会 担い手・営農サポートセンター)  
(公 印 省 略)

J A 直 鞆

## 営農情報 4

# ウンカの飛来状況

**平年に比べて非常に早く、5月10日にトビロウンカの飛来が確認されています。**

本年は、梅雨入りが平年に比べ、20日早く、今後の飛来も多くなる可能性がありますので、下記の事項を参考に、技術対策の実施をお願いします。

### トビロウンカの飛来状況

福岡県病害虫防除所の調査によると **5月10日に大木町、5月13日に糸島市**の予察灯において、トビロウンカの飛来を確認しています（昨年度5月18日確認）。

九州各県においてもセジロウンカの飛来を5月5日に長崎県諫早市、5月12日、5月15日に鹿児島県南さつま市で確認しています。

## 1 対策

梅雨入りも早いことから、昨年同様にトビロウンカの飛来回数、その後の増殖が多くなることが懸念されますので、下記の対策を徹底してください。

### (1) 箱施薬剤

- ・ **必ずトビロウンカに効果の高いゼクサロン混合のものを選択する。**
- ・ 規定量を厳守する。
- ・ 田植え前日の施用が望ましい。
- ・ 極端な疎植を避ける（10a当たりの処理量が少なくなり、防除効果が低下）

JA取り扱い農薬は、防人、ブーンゼクテラ、フルスロットルの各箱粒剤があります。

### (2) 本田防除

- ・ 早期水稻や極早生「夢つくし」においても多発した場合は、出穂前に必ず防除を実施する。
- ・ 株元に到達するように、丁寧な薬剤散布を行う。
- ・ 防除器具が無い場合などは、粒剤の施用で対応する。

### (3) 耕種的対策

- ・ 極端な早植えは避ける。
- ・ 多肥栽培は避ける。

**効果の高い箱施薬剤を必ず施用し、**

**田植え後は、早期発見、早期防除に努めましょう。**